

まちづくり

No. 105

広島市中区社会福祉協議会

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp

法人統合のお知らせ

令和4年4月1日に中区社会福祉協議会をはじめとする市内8区の社会福祉協議会は、
社会福祉法人広島市社会福祉協議会と法人統合しました。

Facebookを開設しました!

「めざします 住んで良かった このまちに」をスローガンに、高齢者・障がい者・児童等すべての人が安心して住みやすい福祉のまちづくりに取り組んでいます。Facebookで掲載する内容はこちらです!

- (1) 中区社会福祉協議会の事業に関する情報 (3) 災害時におけるボランティア活動
(2) 中区内の地域福祉活動に関する情報 (4) その他 福祉活動推進に関する情報 など



興味を持たれた方は
いいねやフォローを
お願いします!

第24回 なかくボランティアまつり

～ この街が好き。～

ボランティア・障がい児者・地域の交流を目的として開催してきた「なかくボランティアまつり」も、今年で24回目を迎えます。コロナ禍によって、例年通りとはいきませんが、規模を縮小して開催いたします。ご家族やお友達とお誘い合わせの上、是非遊びにきてください♪ ※新型コロナウイルスの感染状況によって中止する場合がございます。



とき 令和4年10月15日(土)
10:00～13:00(予定)

ところ 中区地域福祉センター
(中区大手町4-1-1 大手町平和ビル)



バザー物品の提供をお願いします

タオル、石鹸、洗剤、食器(箱に入ったもの)、カバン、日用雑貨 など

- ・未使用のものをお願いします。古着はご遠慮願います。
- ・食品については賞味期限等の確認のため事前にお問い合わせください。

※お問い合わせは、平日8:30～17:15までをお願いします。
※バザーの収益は、ボランティア活動の推進のため、大切に使用させていただきます。

コーナーの紹介

- ▶ 福祉体験コーナー
手話・点字・音訳・要約筆記・車いす
- ▶ 喫茶コーナー
コーヒー販売
- ▶ 共同募金・あそびコーナー
ゲームに挑戦して景品をもらおう!
- ▶ 工作コーナー
手作り小物を作ろう!
- ▶ 健康づくりコーナー
血圧・体脂肪測定など

- ▶ バザーコーナー
日用雑貨等の販売があります。掘り出し物があるかも!?
- ▶ 作業所展示販売コーナー
さをり織り、フェルト製品、小物など
- ▶ 障がいがある方への相談コーナー
お気軽にご相談ください。



なかくボランティアまつりを一緒に盛り上げてくれるボランティアを募集中

まつり前日の準備、当日各コーナーのお手伝いをしていただける方を募集しています。参加は可能な時間帯でかまいません。ボランティア活動へのきっかけとして、まつりに参加してみませんか? 詳しくは、P.4の問い合わせ先までご連絡ください。



幟町地区社会福祉協議会は、幟町地区の住民の生活向上、福祉増進を図り、地域の連帯と発展に寄与するために活動しております。幟町地区連合町内会、機能別・世代別各種団体（民児協、女性会、体協、老人クラブ、青少協、公衛協、子ども会、PTA、自主防災会、消防団、他）と相互の連絡調整を図り、その組織活動を促進し、活力と思いやりのある町づくりを推進しています。

今回は幟町地区のサロン活動について紹介します。

～幟町地区社協の運営するサロン～

④ のぼり元気あっぷサロン 毎月第3木曜日 14:00～15:30



奇数月:転倒予防教室
偶数月:ゲストティーチャーを招いて、参加者と楽しむサロン♪
6月にはレクリエーション協会の方を講師にお招きし、脳トレをしました。また、7月には健康運動指導士の大背戸先生をお招きし転倒予防体操を行いました。

③ 上八丁掘楽々体操 毎週金曜日 14:00～15:30



今年の5月から開設したサロンです。主にいきいき百歳体操をしています。座談会も行いながらサロン内でゆるやかな関係づくりをしましょう♪



① のぼり楽々体操 毎週火曜日 10:00～11:30



主にいきいき百歳体操をしています。活動のマンネリ化を防ぐために、レクリエーションや歌をサロン活動に取り入れることを検討中♪



② トリニティ楽々体操 毎週水曜日 10:00～11:30



トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校の介護福祉学科2年生 柏木さん

トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校の介護福祉学科の学生さんがサロン運営のお手伝いをしてくれています。これは、「地域いきいきプロジェクト」というトリニティカレッジの授業の取組みとして、地域の高齢者が住み慣れた街での暮らしを継続するための支援を、学生が主体となって活動するプログラムで、本サロンの支援もその一つです。

楽々体操で運営の補助をしている介護福祉学科2年生の柏木さんにお話を伺いました。

「サロンの日は、会場の設営を行い、玄関で参加者を元気なあいさつでお出迎え、会場までの誘導、入り口での受付、体操の実演をしております。また、一人で会場まで来るのが難しい利用者の方においては、送迎も行ったりしております。」

月終わりには学生が主体となってレクリエーションを行ったり、先生が家庭でも使える福祉用具の紹介や学習講座を行ったりしています。今後も利用者の方の意見を取り入れながら新しい取組を考えていきます。

本プログラムは授業の一環ではありますが、私たちの活動によって、自分たちが関わった地域の方の身体機能や認知機能の向上が見られた時には、大変やりがいを感じます。」



福祉委員からのコメント

福祉委員になったきっかけは、幟町地区社会福祉協議会の地域福祉推進委員をされている好木さんからお声かけいただいたことです。元々好木さんとは地域の女性会や老人会でつながりがあり、その中で頼みやすかった方をお願いしたんじゃないでしょうか(笑)。

サロン運営のお手伝いは大変ですが、参加者からのお礼や笑顔がやりがいにつながります。サロンは体操を行うだけではなく、参加者同士でお話ししながら友達を作り、つながりを作る場所でもあります。街で会った時に、気軽に挨拶や会話ができるゆるやかな関係を築ける場所になれば幸いです。

コロナの感染対策を行いながらのサロン運営にはなりますが、感染対策については幟町地域包括支援センターから指導いただきましたので、特に苦労することはありませんでした。

ぜひ、サロンに足を運んでいただき、ゆるやかなつながりを作りましょう。



福祉委員 萩原さん 福祉委員 末田さん



幟町包括 佐伯さん 福祉委員 大久保さん 福祉委員 森本さん 福祉委員 井上さん 地域福祉推進員 好木さん

⑤ 虹カフェ(認知症カフェ) 毎月第3火曜日(8月・1月休み) 13:00～15:00

⑥ カラオケの会 毎月第2・4木曜日 14:00～16:00

⑦ 健康麻雀教室 毎月第1・3月曜日 14:00～16:00

⑧ 楽々サロン 偶数月の第2水曜日 14:00～15:30

幟町地区にお住まいの方でサロンの詳細については中區社会福祉協議会までお問い合わせください。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

昨年度も広島市中区共同募金委員会では、「じぶんの町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに赤い羽根共同募金運動（期間：令和3年10月1日～12月31日）を実施しました。

社会の変化のなか、赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。

赤い羽根共同募金は、みなさんのお住まいの地域で幅広く活用されています。中区社会福祉協議会ではお寄せいただいた募金は、ひとり親家庭の子どもや障がいをお持ちの方、高

齢者等の交流活動など、皆さんの住むまちの地域福祉活動へ活かされています。

令和3年度 共同募金実績額 6,668,289円

戸別募金	4,602,257円
街頭募金	58,436円
法人募金	1,403,474円
職域募金	551,222円
その他	52,900円
(令和4年3月31日現在 実績)	



広島市中区社会福祉協議会 令和4年度 事業計画

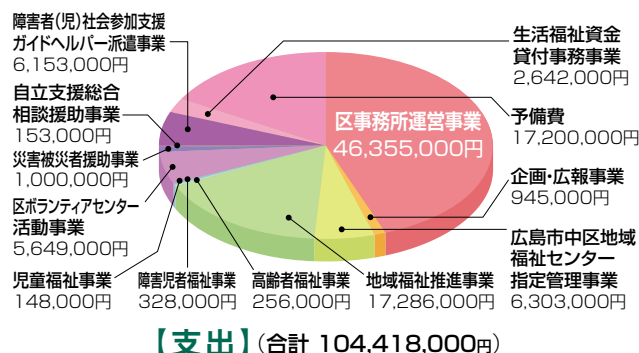
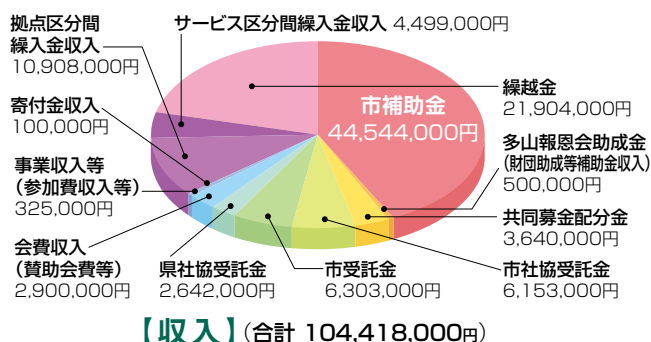
令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、当初計画していた事業の実施ができませんでした。

令和4年度からは新型コロナウイルスの終息を願いつつも、「ウィズコロナ」で工夫して、令和3年度当初計画に引き続き、中区の地域福祉を推進するため、多様な民間団体

と社協・行政の連携を大切にし、町内会・自治会や地区・学区といった小さなエリアから区域までのそれぞれの活動を支援・推進していきます。

第7次計画では、福祉のまちづくりをすすめる活動の推進、多様な市民活動の応援、一人ひとりの暮らしを受け止め・支えながら、本会の活動基盤を強化することとしています。

令和4年度 予算



社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会 令和3年度 事業報告

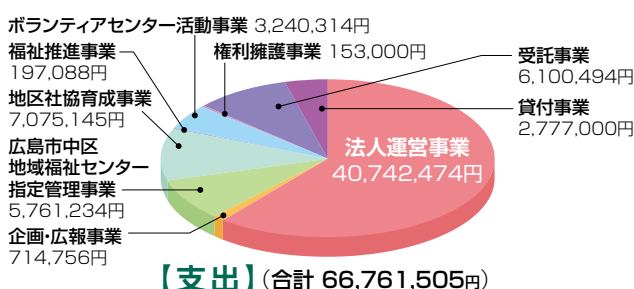
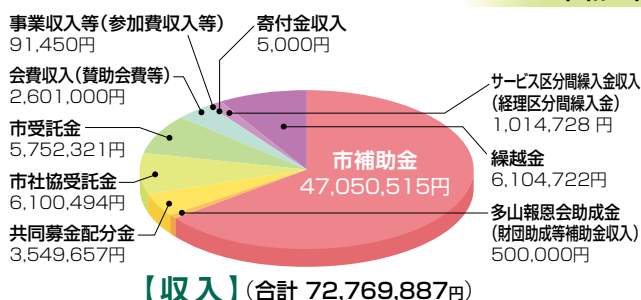
「めざします 住んで良かった このまちに」をスローガンとした新たな地域福祉活動第7次5か年計画(平成30年度～令和4年度)に基づき、住民一人ひとりが主役となったささえいのまちづくりやボランティア活動の推進に努めました。

しかしながら、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響から、令和2年度に引き続き、ほとんどの事業を延期又は中止せざるを得ない状況となりました。

一方で生活福祉資金貸付制度における特例貸付(新型コロナウイルス関連)への問い合わせ、申請についても令和2年度同様、相談業務の大半を占めることとなりました。

一方生活福祉資金貸付制度における特例貸付(新型コロナウイルス関連)への問い合わせ、申請についても令和2年度同様、相談業務の大半を占めることとなりました。

令和3年度 決算



次年度への繰越 ▶ 6,008,382円

ボランティアグループめだか 30周年記念講演を開催しました



今年で結成30年を迎えたため、記念として7月9日(土)に講演会を開催しました。広島大学保健管理センター高垣助教を講師としてお招きし、新型コロナウイルス流行による心理的な変化とその対応を講演されました。

30名の参加者が来られ、参加者から「相談活動の中で、曖昧だった行動療法が具体的でわかりやすく、これからの実践に役立ちます。」「ネガティブになりそうなときは、自分に注意を向けるのではなく、あえて外に注意を向け、自分に合ったリラックスできる方法を見つけようと思いました。」などと感想をいただき、盛況でした。めだか小早川代表から「みなさんのご協力でいい講演会ができました。」と笑顔で話されていました。

これまでの活動

ボランティアグループめだかは平成4年に精神障害者社会復帰支援の取組みとして、有志20名で立ち上げたグループです。発足時、作業所はありませんでした。精神障害者の3分の1の人は、病院を出ていきなり社会生活に馴染めず、入退院を繰り返すか、家に閉じこもるかで行き場のない青少年が多かったようです。中区内に精神障害者の小規模作業所を作ることを目標とされ、作業所「カープクラブ」や「パンダハウス」の設立に携わられました。その後も精神障害者の相談援助を行われています。



高垣助教とボランティアグループめだかみなさん

賛助会員にご加入お願いいたします

～地域の福祉活動費として還元されます～

本会では住み慣れた地域で安心して暮らしていける「福祉のまちづくり」の実現に取り組んでいます。お寄せいただきました賛助会費のうち、2分の1は地区(学区)社協が行っている「ふれあい・いきいきサロン」などの地域に密着した活動に、残りの2分の1は本会が行っているボランティア活動の推進などの福祉事業に活用させていただいています。

会費 一口(年間) **3,000円**

【加入方法】個人、団体、企業様等どなたでもご加入いただけます。手数料不要(現金払込の場合は110円要)の払込取扱票がありますので、お住まいの地区の社協役員または、本会(249-3114)までご連絡お願いいたします。

令和3年度 賛助会費実績額 **767口 2,301,000円**

昨年度も皆さまのご協力とご理解により、多くの方にご加入いただきました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

申し込み
問い合わせ

広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター

〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階

TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956

✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp ⌨ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

